



事業所における自己評価総括表

事業所名	おもちゃ箱 さくら		
保護者評価実施期間	2026年 1月 20日		～ 2026年 2月 7日
保護者評価有効回答数	(対象者数)	21人	(回答者数) 8人
従業者評価実施期間	2026年 1月 20日		～ 2026年 2月 7日
従業者評価有効回答数	(対象者数)	5人	(回答者数) 5人
事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 20日		

○ 分析結果

	事業所の強みだと思われること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用児童の普段の活動、支援内容、イベントなどの満足度は高い傾向にある。	特に集団支援に力を入れている。なるべく多くのお友達や、大人と関わりを持ってもらえるように心がけている。	全員で楽しめるレクリエーションや、実際に体験できるイベントなどへの参加を増やしていきたい。
2	特に長期休み期間のお出かけイベントは利用児童、保護者からの満足度が高い。	なるべく利用児童が行ったこのない場所や、体験したことがないイベントを探している。	利用児童、保護者からの要望をもっと取り入れ、全体としての満足度をもっと上げていきたい。
3	長期休みの利用者へのレスパイトケア（食事の用意）の満足度が高い傾向にある。	イベントや昼食支援などを意識的に取り入れ、保護者の負担を減らすことも意識的に考えている。	どうしてもコストがかかってしまうので、今よりもっとコストを抑え、満足していただける工夫を事業所として常に模索していく。

	事業所の弱みだと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域との交流が少ない。	コロナ移行、地域との交流イベントの機会が大幅に減ってしまった。	地域交流のようなイベントも少しずつ増えてきているはずなので、常にアンテナを張っていきたい。
2	他事業所との交流が少ない。	他放課後等デイサービスとの連携が少なく、利用児童が関われる関係の幅をもっと広げていきたい。	協議会や、同系列の他事業所との連携を今以上に広げていく。その中で合同イベントなどで機会を作っていきたい。
3	父母の会の活動の支援や、保護者会等の保護者同士の交流がない。	普段から保護者会を意識していない為、会話などにも話題が出づらい。	最近スタッフで話題が上がっていた、保護者参加型の運動会の実施を具体的に検討していきたい。